

# 仮称・観光交流センターの利用方法の提案

平成20年10月20日  
NPO法人久留里フィールドミュージアム

先般意見募集のありました仮称・観光交流センターの利用方法につきまして、私どもは、**まちめぐりの拠点としての利用**、並びに**久留里線博物館としての利用**を提案いたします。

## 提案理由

### 1. まちめぐりの拠点としての利用について

君津市が作成した当地区の「都市再生整備計画」には、中長期のビジョンとして、「久留里城、城下町、生きた水の里をテーマに多数の観光客が散策する観光地久留里の整備を進める」と記されています。

この「多数の観光客が散策する観光地久留里」という当地区の目標像を現実のものとするためには、案内標識や散策コースの整備に加えて、来訪者に対し総合的に観光情報を提供する、常設の案内所の設置が求められます。

また観光客の誘致を久留里商店街の振興につなげるには、観光客の受け入れ拠点をまちなかに置き、市民と来訪者との交流機会を増やし、地区の商業機能の活性化を図る必要があります。

仮称・観光交流センターは、その立地や、建物の持つ歴史性から考えて、上にあげたような観光案内所や観光客受け入れ拠点として利用するに最適の施設であります。

よって、まちめぐりの拠点としての利用を、別紙の通り提案いたします。

### 2. 久留里線博物館としての利用について

仮称・観光交流センターがまちめぐりの拠点として高度な機能を備えたとしても、センターに観光客が集まる仕組みがなければ、その使命を全うできません。

「観光地久留里」の実現のためには、久留里地区が常時安定した集客力を有し、イベントに依存せずとも多数がまちなかを訪れるよう条件を整える必要があります。

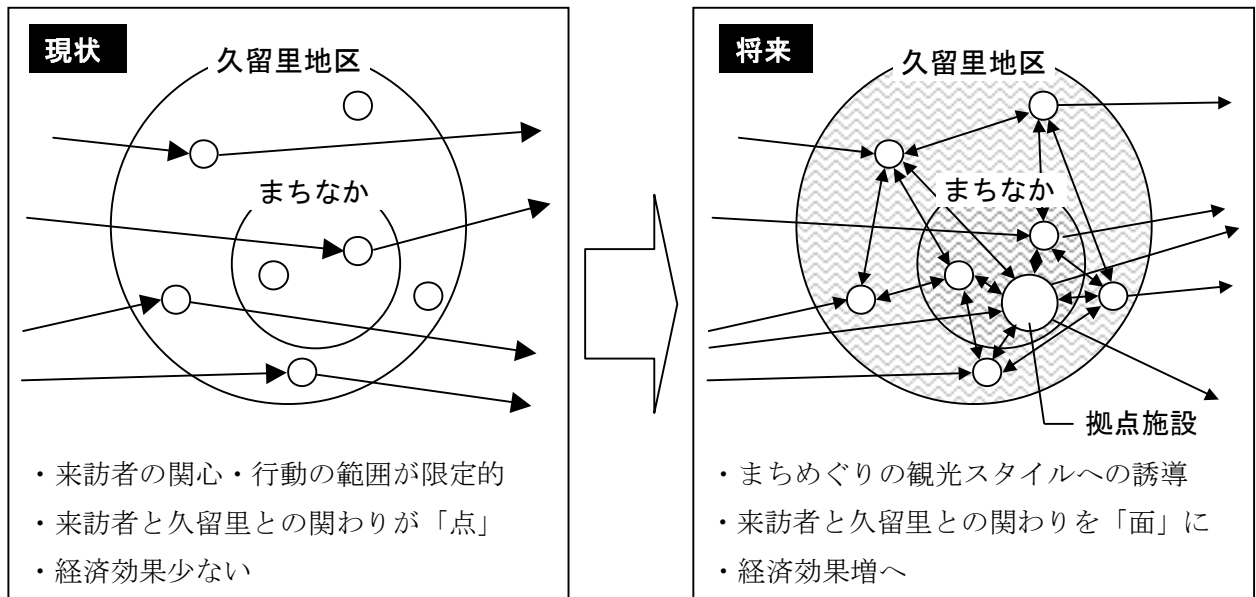
更にまちなかを訪れた観光客が、確実にセンターを訪れ、そこを散策の拠点とするように、来訪者を誘導する仕掛けが求められます。

そこで久留里線という、当地区屈指の観光資源を活かして、センターを「久留里線博物館」とし、センターそのものを集客の目玉とすることで、上にあげた課題を解決したいと思えます。

つきましては、まちめぐりの拠点としての利用に併せて、久留里線博物館としての利用を、別紙の通り提案いたします。

# まちめぐりの拠点としての利用の提案

## 1. 現状の課題とその解決のイメージ



(図中の丸印は観光スポット、矢印は来訪者の流れを意味します)

## 2. 利用形態

### ・ 観光案内所として

散策コースを記したマップを配布したり、上総掘りや雨城楊枝、農作業等の体験プログラムを案内するなどの情報提供を行い、城や井戸といった観光スポットだけでなく、町をまるごと「面」として楽しむ観光行動へと来訪者を誘導します。

### ・ ガイドツアーの拠点として

くるりボランティアガイドや、久留里城址資料館主催のガイドツアーの際、この施設にて久留里の町についての簡単なレクチャーができるよう機材を用意します。歴史的な情感ある建物の中で聞くレクチャーは、まちめぐりにあたっての効果的なイントロダクションとなることでしょう。

### ・ 久留里外部の団体の受け入れ施設として

外部の市民団体や旅行者によるツアー、また山林整備のボランティア等に対してこの施設を開放し、休憩所等として利用してもらうことで、まちなかへ人を呼び込みます。

## 3. 希望する備品

プロジェクター、スクリーン、ワイヤレスマイク、スピーカー等の映像音響設備

パソコン、無線LAN、プリンター、液晶モニター等のPC環境

コピー機、印刷機、紙折り機、ラミネーター、ファックス等の事務機器

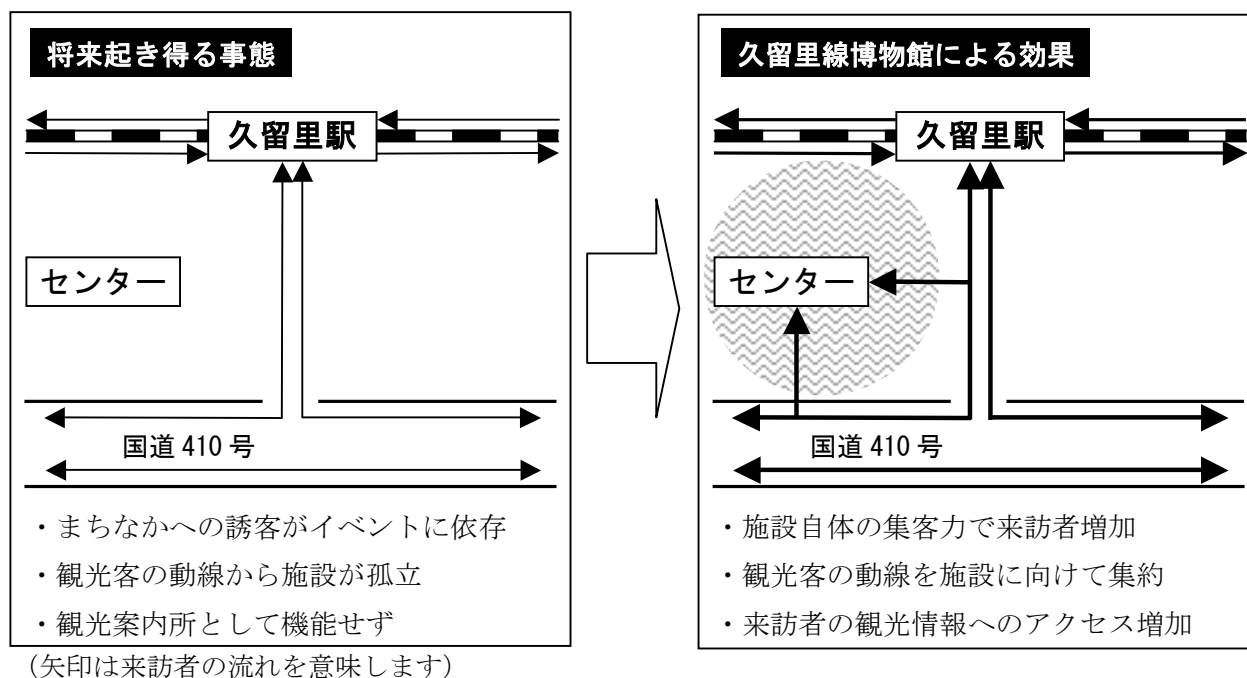
掲示板、パネル展示用ワイヤーレール、スポット照明等の展示設備

その他、机、椅子、本棚、チラシ用スタンド、ホワイトボード、コードリール、等

# 久留里線博物館としての利用の提案

久留里線博物館としての集客力と、まちめぐりの拠点としての情報発信・来訪者受け入れの機能との相乗効果により、観光による地域振興に向けた仕組みを作ります。

## 1. 予想される課題とその解決のイメージ



## 2. 利用形態

### ・ 久留里線関連資料の展示場として

久留里線で運ぶ物資の倉庫であったという歴史ある建物の中に、郷愁あふれる写真等の資料を展示。来場者が町への関心と親しみを抱くよう、展示構成を工夫します。

### ・ 車両本体、タブレット交換機の展示場として

久留里線はタブレット交換や貴重な形式の車両によって知られており、これらの実物を展示することで、鉄道マニアを始め、幅広い層に強くアピールすることができます。

### ・ 路線と連動した観光サービスの拠点として

駅構内の線路に下り、車両の正面にて記念写真を撮影するなど、都市部の路線では全く不可能なサービスが、久留里では可能となるかもしれません。JRとの連携次第で、多様なサービスの展開が期待できます。

## 3. 希望する備品

古写真、制服、ポスター、パンフレット、業務記録、看板等の展示資料  
車両本体（屋外に設置か）、タブレット交換機等の体験設備  
展示ケース、セキュリティーシステム等、展示品の保護にかかわる設備